

滑川市議会

〈会派自民〉議会活動報告

会派自民

2021年8月発行

問い合わせ先

中川 眞 **☎**477-1735
高橋久光 **☎**475-0604
岩城晶巳 **☎**477-1857
原 明 **☎**475-1351

ご挨拶

まだまだ暑い日が続く今日この頃です。私ども、会派自民はその前身である一心クラブより16年間の長きにわたり自民党議員で結成し、現在は中川眞、高橋久光、岩城晶巳、原明と4名ではあります、常に最大会派として活動してまいりました。その間多くの方々から貴重な意見を賜り感謝を申し上げます。

この度の新型コロナウイルスの感染拡大により、人々の生命のみならず、地域経済や社会生活に今までに経験したことのない大きな変化が生じてきました。

全国的な感染拡大に歯止めがかからず、緊急事態宣言がなされている地域では、重症者数の激増による医療体制のひっ迫や死亡者数の増加も見られ、先を見通すことの出来ない国難となっております。最大の切り札であるワクチン接種が希望する全 국민に早く完了することが待たれます。

言うまでもなく我々議員に課された使命は、市民の皆様の意志を市政に反映させ形として残すこと、そして滑川市の将来を考えた方向性を的確に判断して住みよい街づくりを目指すことが責務と考えております。さらに会派としてこれまでにも増して皆様に信頼され、存在感のある議会にするため努力する所存であります。

日々の議員活動を理解していただくためには、市民の皆様と議会との関係を深める努力がますます求められており、今回は議員個人ではなく会派として第2号を発行することで、この広報が少しでも議会を感じていただく一環であることをご理解いただければ幸いに存じます。紙面の制約もあり4名の会派代表質問・一般質問が中心の構成になっておりますが、ご覧くださいますようお願い致します。

結びに皆様方のご健勝、ご多幸を心より祈念申し上げご挨拶とさせていただきます。

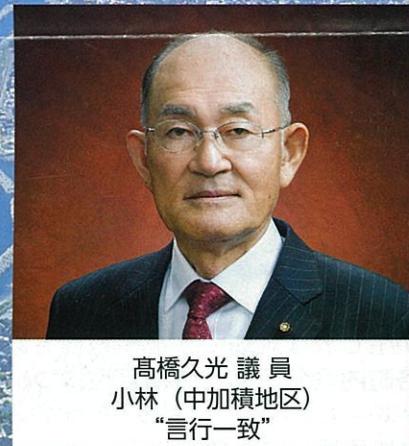
令和3年8月吉日 会派自民



中川 真 議員
北野（浜加積地区）
“公平無私”



岩城晶巳 議員
追分（早月加積地区）
“泰然自若”



高橋久光 議員
小林（中加積地区）
“言行一致”



原 明 議員
宮窪（北加積地区）
“公明正大”

2021年住みよさランキング (東洋経済新報社)

滑川市は全国 (812市区中) 総合30位、県内 (10市) 総合トップ!!

	総 合		安心度		利便度		快適度		富裕度	
	全国順位	県内順位								
滑川市	30	1	131	1	620	9	43	1	166	3

【算出指標】

- 安心度 ①人口当たり病院・一般診療所病床数 (19.10) ②老年人口当たり介護老人福祉・保健施設定員数 (19.10)
③20~39歳女性人口当たり0~4歳児数 (20.1) ④子ども医療費助成 (対象年齢・所得制限の有無) (21.4)
⑤人口当たり刑法犯認知件数 (19) ⑥人口当たり交通事故件数 (19)
- 利便度 ①人口当たり小売販売額 (15) ②人口当たり大規模小売店店舗面積 (20)
③可住地面積当たり飲食料品小売事業所数 (16.6) ④人口当たり飲食店数 (16.6)
- 快適度 ①転出入人口比率 (19) ②水道料金 (21.4) ③汚水処理人口普及率 (20.3)
④気候 (月平均最高・最低気温、日照時間、最深積雪) (1981~2010) ⑤都市計画区域人口当たり都市公園面積 (19.3)
- 富裕度 ①財政力指数 (19) ②人口当たり法人市民税 (19) ③納税義務者1人当たり所得 (19)
④1住宅当たり延べ床面積 (18.10) ⑤住宅地平均地価 (20.7)

定例議会における会派自民の代表質問・一般質問より



中川 勲 議員

富山地区広域圏事務組合議会議員	議員定数及び報酬検討特別委員会委員長	議会運営委員長	産業厚生建設委員会委員長	元議長 平成21年12月～平成23年12月
-----------------	--------------------	---------	--------------	--------------------------

～令和3年6月議会代表質問より～

スポーツアカデミーサッカー場人工芝について

Q スポーツアカデミーサッカー場人工芝の傷みが多く目立っておりプレーする選手が滑って危険である。早期に人工芝を張り替え安全確保するべきではないか。

A 上田教育委員会事務局長 昨年度までの8年間の平均で年間約6万8千人の利用があった。当初見込み数は年間4万人ほど見込んで人工芝の耐用年数を10年程度と見込んでいたが、選手が集中するエリアの芝に劣化が進んでいると認識している。人工芝の張り替えについて施設管理者や県のサッカー協会と協議している。早期の改修に向けて検討していく。

新型コロナウイルス感染拡大防止対策について

Q 新型コロナウイルス感染拡大防止対策事務局は健康センター職員のみで、接種のPRや接種の案内状の発送後の事務など行うのか。

A 上田市長 コロナ対策は各部門全庁挙げて総合対策を行っている。市民の協力の下にワンチームで闘い、一人一人がうがい、手洗い、マスクなど徹底され、生活習慣となって自分の自覚で防御する。

Q 日常生活において変化が出た家庭はないか。

A 石川副市長 社会福祉協議会への緊急小口資金が149

件、総合支援資金が55件の貸付けが出ており、家庭への影響が大きかった方がかなりいるとを考えている。

Q 新しい生活様式の取り組みで児童・生徒は大変であると思うが、学習面、精神面に変化はないか。

A 伊東教育長 学校では定期的に面談を行い、心の悩みを抱えている児童・生徒や家庭の状況にも把握に努め、一人一人に応じた指導を行っている。

フレイル対策について

Q 新型コロナウイルス対策のため外出を自粛する生活により、心身が衰えていくことであるが、対策をPRすべきではないか。

A 綱谷産業民生部長 地域包括支援センターでは、感染症対策を実施した上で、介護予防教室を開催、ケーブルテレビの「かがやきテレビなめりかわ」において体を動かす機会を増やす体操を紹介する。

中滑川駅前エリア整備事業について

Q (仮称) 中滑川複合施設の最初の入札はなぜ成立しなかったか。

A 岩城建設部長 4月26日に公告し、5月24日を開札日として実施、入札参加申込みがあつたが、その後辞退に伴い入札が中止となった。価格で折り合いがつかなかつた。



高橋 久光 議員

富山県東部消防組合議会議員	広報広聴委員	産業厚生建設委員会議員	元議長 平成15年12月～平成16年12月
---------------	--------	-------------	--------------------------

～令和3年3月議会一般質問より～

ゴミ問題について

Q 農家はそろそろ農作業の準備にかかる。そこで気になるのが道路脇の田んぼや排水路にあるペットボトルや空き缶といったゴミである。ドライバーがポイ捨てをするのではないかと思う。毎年この時期になると、清掃活動、農家でいう江ざらいが行われる。市として何らかの行政指導の手助けも必要ではないか。

A 石坂生活環境課主幹 道路のゴミは道路管理者が対策を講じて対処されている。市としてポイ捨て禁止する看板の配置や不法投棄防止パトロール員による定期的な市内巡回、ゴミのポイ捨てを未然に防止するための意識の向上が必要と考えている。

Q 家庭及び屋敷内から自然発的に出るゴミ処理について伺う。

A 石坂生活環境課主幹 野焼きは風俗習慣上の行事など一部例外を除き、法律で禁止、例外に該当する場合でも住民に悪影響が生じれば焼却できない場合もある。

地区公民館、各町内会公民館との相互性について

Q 校区全体の行事や集会場として集まりやすい地区公民館の、北加積、中加積地区では放課後児童事業が行われて

いる。今回、西部小学校区に小学校の隣に放課後児童対策事業施設が新しくできた。南部校区もぜひお願いしたい。

A 地崎生涯学習課長 利用団体において活動内容に配慮し利用いただいている。利用状況を把握しスムーズな利用調整に努める。

地域先人達をたたえた地域PRを進めてはどうか

Q 数々の農地に水を引いて開拓の労に尽くされた先人、椎名道三の功績をたたえた本が市内各小学校の副読本として配布されている。この副読本をどの程度滑川市の子どもたちが利用されたのか。現状実施しているか。

A 地崎生涯学習課長 副読本「室山野・東福寺野の台地をひらく」を使用し、郷土を開いた偉人である椎名道三について学習している。

Q 椎名道三をたたえて滑川市をもっとPRできないものか。滑川市の誇りである椎名道三をモデルにして映画化を申し込んだらどうか。

A 上田市長 椎名道三について小学4年生にしっかりと授業で取り上げている。滑川市では一応のことをやってきた。あなたはやれということありますが、あなたもやってください。高橋さん自身が動いてください。

定例議会における会派自民の代表質問より



岩城晶巳 議員

現議長	平成25年12月～現在
市議会議長	令和2年12月～現在
総務部長	平成27年12月
富山県東部消防組合議会議長	
富山地区広域圏事務組合議会議員	

～令和2年9月議会代表質問より～

新型コロナ感染症について

Q 新型コロナ感染症拡大が長引けば当然ながら、更なる対策費が必要であると考えるが、当市は大丈夫か。

A 石坂総務部長 今後の市内経済状況を踏まえた対策などを講じていく必要があると考えており、国の地方創生臨時交付金などの活用、また状況によっては、更なる財政基金の取崩しなどにより対応してまいりたい。

Q 5月の学校再開は、県内で一番早く再開されたことは評価する。その分対策も大変だったと思うが、現状を聞きたい。

A 伊東教育長 3密を防ぐなどの工夫を凝らして感染予防に配慮し、学びを大事にしながら教育活動を進めていくことが大切であることを踏まえる。学校行事については、大切な活動であることから、運動会については、3密にならないような競技種目の工夫を行い、中学校では午後2時頃まで、小学校では半日規模で参加者を限定して実施する。宿泊学習は、小学校では時期を変えて2学期に実施し、中学校では校外学習への代替を検討している。修学旅行は中止を決定し、14歳の挑戦事業は受入れ事業所の辞退もあり、中止の予定である。

観光について

Q 「これは滝だ。」という有名な言葉は早月川を指して言った言葉と確認された。湾岸クルージングで早月川コースに乗り早月川を望めば、7つの橋が順番に見え高低差の激しさを表している。観光に活用できないか。

A 石川副市長 滑川市の自然環境というのは大きな観光素材にもなる。ジオパークの観点からも、滑川の大自然を多くの人に実感していただきたい、早月川の急流河川の今までの役割を、観光素材としてキラリン号に乗っていただく方に説明していきたい。

Q 航路は30分、岩瀬の町並み、ライトトレールで富山市内へ出て、あいの風で帰宅する、湾岸クルージング岩瀬ルートは魅力では。

A 石川副市長 魅力があり、私もこのルートができるかを考えている。いろんな古い町並みなどで需要も多い。係留場所についてなど幾つかの課題があり、ウェーブ、港湾管理者と協議し検討していきたい。



原 明 議員

前議長	平成29年11月～令和2年12月
市議会前議長	
滑川市公共施設マネジメント特別委員会委員長	
滑川市教文総務部長	
滑川中学校情報組合議会副議長	
広報広聴委員長	

～令和3年3月議会代表質問より～

2021年度予算編成について

Q 市税収入の減少が見込まれる中2021年度予算編成には創意と工夫がされたと思う。上田市長の思いを伺う。

A 上田市長 2021年度の当初予算は、市民が真ん中にある市政の3期目の集大成となるものであり、新型コロナウイルス感染症の影響に配慮しながらも、第5次総合計画に掲げる「ひと・まち・産業が元気なまち 滑川」の実現に向けてできる限りの各種施策の予算化を図ったところである。

新型コロナワクチン接種について

Q 65歳以上の高齢者約9千800人のワクチン接種に要する見通しは。

A 藤田産業民生部理事 定期的なワクチン供給は、早くても5月上旬になると見込まれ、開始時期が1ヶ月遅れることから高齢者の2回目の接種の期間は7月下旬ごろになる見通しである。

Q 16歳から64歳までの接種が完了するのはいつ頃になるか。

A 藤田産業民生部理事 国の新型コロナワクチン接種要領では、接種期間を令和4年2月28日までと定めており、開始から約6から7ヶ月が必要とされてい

る。64歳以下の接種については、勤務の方が多いことから、ワクチン供給スケジュールを踏まえ、接種完了時期を早められるよう、市医師会の先生方と協議してまいりたいと考えている。

鳥獣被害について

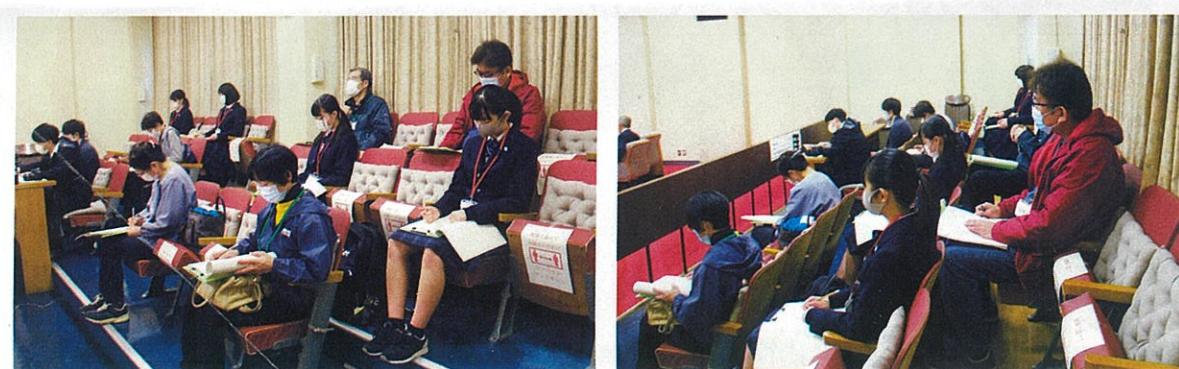
Q 当市でのイノシシの被害は減少しているのか。減少しているのであれば要因を問う。

A 網谷産業民生部長 令和2年度のイノシシによる農作物被害は、令和3年1月末時点での被害面積が621アール、被害金額は676万9千円であり、昨年同時期の1千255アール、1千335万6千円と比べ、面積で634アール、金額で658万7千円減少しており、約50%減となっている。有害鳥獣捕獲活動の強化や設置が進んできた侵入防止柵の効果により、イノシシ被害が減少していると考えている。

観光について

Q ふるさと龍宮まつりの街流し、海上花火大会の開催決定はいつ頃になるか。

A 網谷産業民生部長 7月に開催を予定しているが、開催の延期を含め、ふるさと龍宮まつり実行委員会で検討しており、開催決定の時期については4月上旬を目途に決定の予定である。



2021年3月議会は3月13日(土)に開催されました。

3月議会は恒例の土曜議会が開催されています。
皆様の御来場お待ちしております。

傍聴した感想（傍聴者アンケート等）

- 豪雪等の対応について聞けたのが良かった。
- 滑川中学校の駐車場の舗装については、場所もわかるので、身近に感じた。
- 学生の視点の質問もあった。
- ゴミ問題はいろいろな視点からの意見があつて面白かった。
- 緊張感があった。背筋が伸びた。
- 議会に興味のある高校生もいると思う。
- 議員の考え方、思いが聴いていてわかりやすかった。
- 質問の重複を避けてもらいたい。
- 発言者にははっきりと話して欲しい。
- 厳しい質問もあり、緊張感も伝わったが、市政の全体像が見えなかった。

新型コロナワクチン接種について

新型コロナウイルス感染症対策の最大の切り札とされるコロナワクチン接種の状況については、7月10日現在で1回目の接種を行った65歳以上の高齢者は7,708人（79%）、2回目の接種を完了された方は5,132人（52%）でした。

市では7月末までに希望された高齢者の接種を完了させるため、7月10日と3週間後の7月31日に市民会館大ホールにおいて、本市はじめての集団接種（600名）を実施しました。

その後の接種体制としては、国の優先接種順位により60～64歳、基礎疾患をお持ちの方、高齢者施設従事者に対し接種券が発送されました。

また、市の優先接種としては、小中学校教員、保育・幼稚園教諭、介護予防医療に従事する柔道整復師に接種券が発送され、対象者の一部については、6月27日と7月25日に富山空港ターミナルビル特設会場で県が実施した大規模集団接種を利用されました。なお、59歳以下の接種券の発送については、職域接種や大規

模接種などが実施されたことから、早期に接種券を発送することとし、40～59歳は7月6日に、12歳以上39歳は7月13日に接種券が発送され、全ての方が予約可能な状況になりました。

市が実施する個別接種の状況としては、59歳以下の接種に係る追加策として、現在実施している12医療機関に小児科2箇所が追加され14医療機関での実施とされ、厚生連滑川病院においては、就労者層が接種しやすいように、土曜日に集中して接種の機会を設ける体制となりました。

今後の集団接種については、市民会館大ホールにおいて、8月22日（日曜日）に計画されており、その後もワクチンの確実な供給量に合わせて実施され、接種を希望する対象者が安心・確実に接種できるよう努められています。

また、市が実施する個別・集団接種に加え、民間企業等の実施する職域接種が、市内3企業から申請されており、更なる接種促進が進められています。（7月末現在）



平成30年7月25日
三市（滑川・魚津・黒部）合同議員研修会
黒部市大野市長と辻議長



平成30年10月29日～31日
4年に1回姉妹都市訪問 那須塩原市（左）と小諸市（右）訪問



令和元年10月29日～31日
高知市で全国議長会フォーラムが開催されたのに合わせて、滑川市でも手がけている天日塩づくりの先進地「田野町」を視察しました。

（視察には会派以外の議員も誘っています。）



各議会ごとにおいて、会派で質問が重ならないように事前調整打ち合わせをしています。（議長室）



令和2年2月12日～14日 山口県へ先進地視察
防府市 土曜日の教育活動について 萩市 ICTを活用した遠隔授業について